

生徒会新聞

みんなの頑張り特集特別号

ワープロ。

商業研究部

九州地区高等学校

ワープロ競技大会

高等学校における商業教育の一層の充実と振興を図り、商業を学ぶ生徒がそれぞれの技術を高めるため、各種全国競技大会を開催している。今年度は、沖縄県的那覇商業高等学校で行われた。各県を勝ち抜いた学校が10分間の中で何文字入力することができるかを競う速度の部と通信文書を作成する技能の部に分かれて競技を行っている。

2年4組岩崎ふれあきさんと3年4組渡邊奈々花さんは、「大会でいい結果を残さないといけない」というプレッシャーや周りの学校のレベルが高く、先輩方の思いを繋げることができなかった。」と大会を振り返っていた。



社会福祉科

九州地区高校生

介護技術コンテスト

優良賞受賞&

全国大会出場

介護コンテストは設定されたご利用者の方の心身の状態にあった介助や支援を、安全に十分配慮し提供するためにはどうしたらよいか、何が必要なのかをまず十分なアセスメント(課題分析)したうえで、これまで学んだ知識と技術を統合したケアを披露し、気づきを高め合う場である。



社会福祉科2年の岩下愛香さん、後藤成美さん、伊藤梨瑚さんは「阿蘇中央高校社会福祉科は県立で最初に作られ、私たちは21期目の入学生です。国家試験を在学中に受験できることはもちろん、第7回全国高校生介護技術コンテストに出場できることに繋げてくださった皆さん方すべてに精一杯心からの感謝を伝えたいです。」と全国大会出場に向けて感謝の気持ちを表した。

今年度ももう半分が過ぎました。寒さを感じるようになりましたが、皆さんの体調はいかがでしょう？
今月の生徒会新聞は今年度中の皆さんの頑張り特集です！阿蘇中央高校生が九州、そして、全国の舞台上で活躍している様子を生徒会が取材してきました！

農業クラブ

九州学校農業クラブ連盟発表大会

農業鑑定森林部門全国大会出場



日頃の学習で得た農業に関する知識・技術の成果を、鑑定・判定・診断・審査技術にわたり、その実力を競い合う。出題数は40問で、農業生物、種子、肥料、機械機具、...等々を20秒または40秒というわずかな時間で鑑定・判定し、その正答率を競い、順位が決まる。グリーン環境科3年高橋健太くんは「プロジェクト発表では、九州大会に出場はしたものの、受賞することができず、とても悔しかったです。次の草原再生班のみんなに頑張してほしいです。」と発表大会を振り返った。グリーン環境科3年藤井優成くんは全国大会への出場を決め、「全国大会で最優秀賞をとるために練習で培ってきたことを出し切り悔いのないよう頑張りたいと思います。」と次の舞台へ意気込みを示している。

